

そうせいだより

2019年
春号



院長 南 龍也

「病院長ごあいさつ 2025 年にむけて」

- 第3・4回市民講座について
- 平成31年度開催市民教室

地域を守るお医者さん Vol.03

編集 蒼生病院 広報委員

送迎バスのご案内

京阪本線 古川橋駅、長堀鶴見緑地線 門真南駅に停車するようになりました



Aルート Bルート ——>

蒼生病院 送迎バス時刻表

平成29年2月

	停留所	午前便			午後便		
		1便	2便	3便	1便	2便	3便
A ル ー ト	蒼生病院 出発	08:00	09:30	11:00	13:30	15:00	16:30
	門真南駅 (地下鉄)	08:07	09:37	11:07	13:37	15:07	16:37
	御領バス停	08:22	09:52	11:22	13:52	15:22	16:52
	ディオ大東店	08:25	09:55	11:25	13:55	15:25	16:55
	門真団地入口	08:29	09:59	11:29	13:59	15:29	16:59
	門真四宮住宅	08:32	10:02	11:32	14:02	15:32	17:02
	蒼生病院 到着	08:39	10:09	11:39	14:09	15:39	17:09

B ル ー ト	蒼生病院 出発	08:50	10:20	11:50	14:20	15:50
	トップワールド前	08:55	10:25	11:55	14:25	15:55
	古川橋駅 (京阪)	09:01	10:31	12:01	14:31	16:01
	打越交差点前	09:08	10:38	12:08	14:38	16:08
	五月田小学校前	09:11	10:41	12:11	14:41	16:11
	三島バス停前	09:16	10:46	12:16	14:45	16:16
	蒼生病院 到着	09:23	10:53	12:23	14:53	16:23

※土曜・日曜・祝日は運行していません。

2025年にむけて



蒼生病院 院長
みなみ たつや
南 龍也

私 が若き医師の頃、世の中は高度成長期からバブルの時代と言われ、当時の入院は、「退院するということ」
|| 自宅に帰ること」でありました。しかしながら、昨今の入院治療はガラッと様変わりし、入院治療の必要がなくなっただけでなく、自宅に帰ることのできない方が少なくありません。かつて日本の入院治療が目指してきたこと、それは入院患者に対して短期的に集中した治療を行い、病気に怪我から回復させ社会復帰させるということでした。

21 世紀になり急速な高齢化とともに、慢性疾患や複数の持病をかかえる人が増加し、必要とされる医療のありかたも大きく変わってきております。つまり「病気と共存しながら、日々が送れるようにする」というQOL(暮らしや生活の質)を可能な限り維持することを重視する治療、言いかえれば「治す医療」よりも「治し・支える医療」が必要となってきたこと、今後ますますその需要が増大していくことと思われまます。国民の5人に1人が75歳以上、

平成 30 年度開催市民教室

7月17日 第3回市民教室
「血液検査で何が分かるの？」

画像を交えて、臨床検査技師のお仕事内容から検査内容の説明、検査の解説と多岐にわたる内容でした。質疑応答では、普段の診察ではなかなか聞けない内容の質問を頂き、大盛況のうちに終了することが出来ました。



9月6日 第4回市民教室
「糖尿病基礎編～食事療法のコツ～」

講演では食事療法にスポットをあて、栄養バランスを考えた食事の摂り方や自分にあったカロリーの計算方法など、実際に皆様に計算して頂くことでより関心が持てる場になったと思います。



10月18日 第5回市民教室
「介護保険の仕組み・ケアマネージャの役割」

今回の市民教室はニチイケアセンター守口大日より主任介護支援専門員の麻生知子先生にお越しいただきました。講演では今後に備えて今から勉強しておこうとする皆様の意欲的な姿がとても印象的でした。



11月15日 第6回市民教室
「本人の想いを通して認知症を正しく理解する」

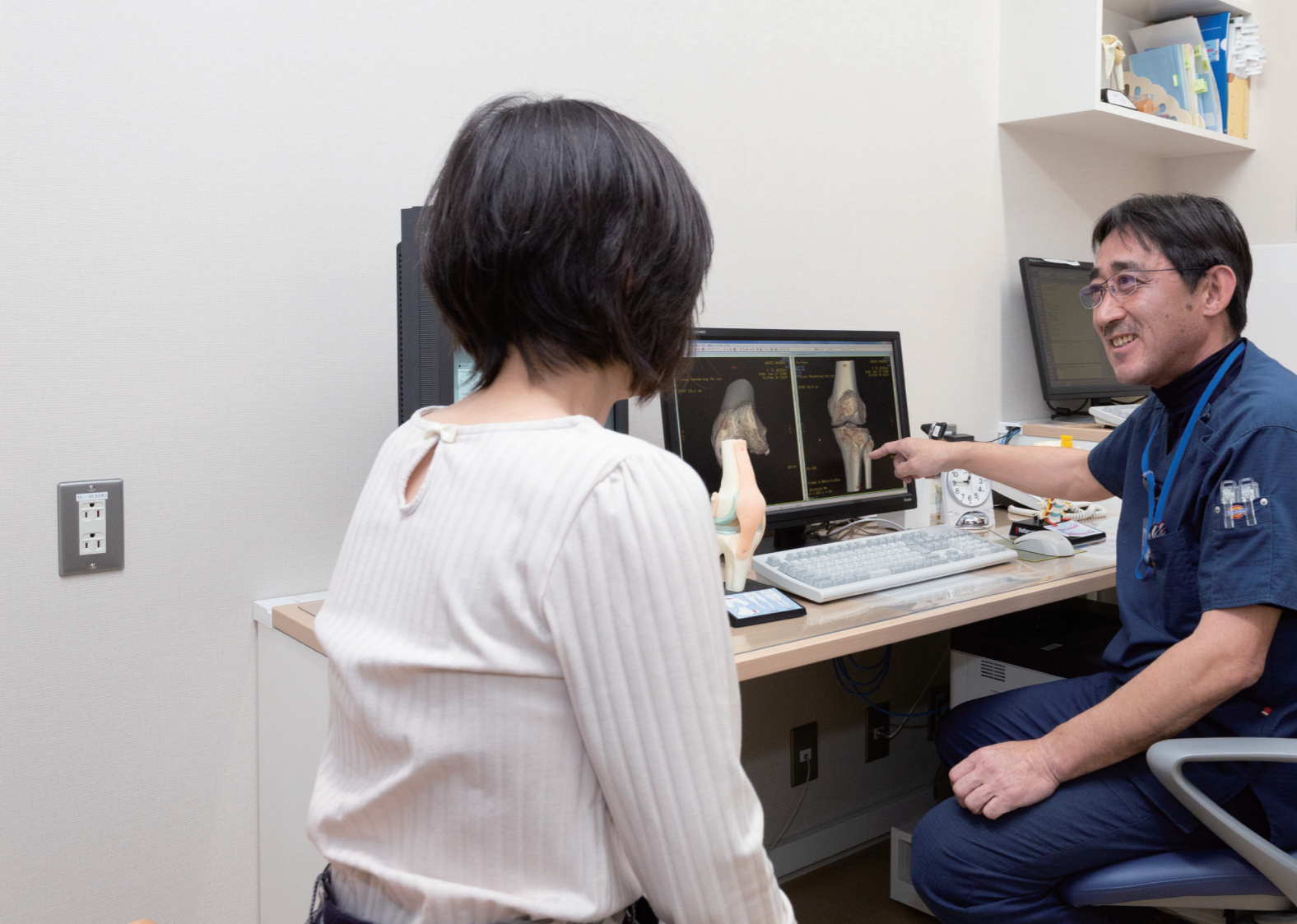
社会福祉法人慶生会の松原宏樹先生にお越しいただきました。講演では実際の現場の声とともに若年性アルツハイマー型認知症に罹患した方の貴重な映像を見ながらの講演となり、皆様ご自分の為、また家族のためにと熱心に参加されていました。



12月21日 第7・8回市民教室
1月25日 「らくらくスマートフォン教室」

NTT docomo さんの協力を得て「らくらくスマートフォン教室」と題し、皆様1人ずつ、スマートフォンが配布され現在スマートフォンをお持ちの方もまだお持ちでない方も皆様熱心に聞いておられました。





高橋クリニック

消化器内科・内科・外科

電話：072-883-8068

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	—
16:00～19:30	○	○	—	○	○	—	—

高橋クリニックは平成18年2月に開院し、当初より地域の皆様の健康維持、増進を目標として参りました。糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病の治療を行うとともに、悪性疾患の早期発見と治療を心がけております。

開院当初、門真団地バス停前という良い立地条件の割にはあまり目立たず苦労しましたが、皆様のお陰で次第に知ってもらえることができました。最近では医師会の役員も仰せつかり、忙しい毎日を送らせてもらっております。

近隣の病院等を良く知らないまま開院したこともあり、蒼生病院には当初よりいろいろお世話になってきました。特に整形外科や外科では手術を含めてお世話になっております。また、MRI、CT、大腸ファイバー等の検査も頻繁に利用させて頂いております。

当院では在宅医療も行っておりますが、一人ですべてのことに対応できる訳ではありません。在宅患者様及び通院中の患者様の急な状態変化に際し、蒼生病院内科の先生には入院加療を含め助けを頂き、たいへん感謝しております。

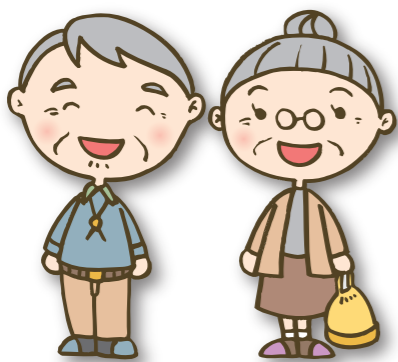
また、蒼生病院には新設されてからは新たに透析設備も設けられ、地域の中核病院として発展されております。今後、当院も蒼生病院とさらに密に連携しながら、地域の皆様の健康を守るために日々努力を重ねていきたいと考えております。



住所：門真市千石東町 2-46 ウインズビル 1-A

そして3人に1人が65歳以上になるといいう2025年まであと6年しかありません。日本は世界のどの国も経験したことのない「長寿大国」への道に足を踏み入れつつあります。今、国が大きな政策転換として進めているのが「病院完結型」の医療から「地域包括ケア構想」に代表される「地域完結型」の医療です。そのためには「入院治療」、「通院治療」とは別の3つ目の医療の柱として「在宅治療」にスポットライトがあてられつつあります。

蒼生病院は開院当初より急性期だけの病院でありましたが、平成30年から地域包括ケア病床という住み慣れた自宅に戻れるための支援をする病床を導入しました。また、通院が困難な患者さん、あるいは住み慣れた自宅に居ながらの治療を希望される患者さんに対し在宅医療を始めました。当院は救急から在宅まで、さまざまな医療需要に対応し、時代や地域のニーズにこたえられる病院を目指していきたいと考えております。



市民講座を開催しました②

第4回市民講座

「先生、わたし内視鏡うけないといけないですか？」



平成31年3月1日（金）
蒼生病院3F大会議室にて第4回市民講座を行いました。今回の市民講座は内科の倉本先生が講演を行いました。内視鏡の専門医である倉本先生から、普段の外来中ではなかなか聞けないような深い話や、内視鏡の詳しい解説を聞くことができました。当院では今後も定期的に市民講座、市民教室を開催していきます。詳しくは改めてご案内いたしますので、ぜひ次回もご参加下さいますようお願い申し上げます。

市民講座を開催しました①

第3回市民講座

「動脈硬化を知り、健康な毎日を！」



平成30年10月25日（木）
蒼生病院3F大会議室にて第3回市民講座を行いました。今回の市民講座は当院循環器内科の川瀬良太先生が講演を行いました。今回は特別に川瀬先生が得意のギターでの弾き語りもあり、皆様好きな曲をリクエストしながら楽しく講演を聞かれました。この度ご参加いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。是非第2段もご期待下さい。